

行政事業レビューとは

行政事業レビューとは

- ① 霞が関の各府省自らが、
- ② 全ての事業を対象に
- ③ 執行実態を明らかにした上で、チェックの過程を公開しつつ、
- ④ 外部の視点を活用しながら点検を行い、
- ⑤ 結果を概算要求や執行等に反映させる、
取組です。

○ 無駄の撲滅には、まずは各府省自らが、主体的に取り組むことが不可欠。
○ 毎年、国の全ての事業を網羅的に点検し、徹底的、継続的に無駄がないかチェック

○ 全ての事業(約5,000事業)について、統一した様式の「レビューシート」を作成、公表。
事業の執行状況や、資金の流れを全面公開。

○ どのような点検を行ったのか、点検を踏まえてどのような対応を行ったのかを、「レビューシート」上に公開。⇒ 過程を透明化し、緊張感のあるチェックを実施。

○ 前年度に新規に開始した事業や事業の終了年度等に当たり継続の是非を判断する必要のある事業を中心に、外部の有識者による事業の点検を実施。
○ そのうち一部の事業については、公開の場で事業の点検を実施⇒公開プロセス

○ 「点検のための点検」ではなく、点検結果を翌年度予算の要求や事業の執行に反映。

○ 各府省におけるレビュー終了後、行政改革推進会議が、各府省の点検が十分なものとなっているか等のチェックを行い、チェック結果が予算編成過程で活用されるよう意見をとりまとめ。

行政事業レビューの流れ(イメージ)

